

## 平成23年度 第9回部長会(概要報告)

・日 時 平成23年10月5日(水)午前9時～

・場 所 八尾市役所庁議室

・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長等

### 田中市長あいさつ

みなさん、おはようございます。

第9回の部長会ということで、早朝よりお集まりいただき、ありがとうございます。

さて、先週には、9月定例会も無事終了し、ご提案申し上げていた議案等もすべて承認・可決をいただきました。皆さんご苦勞様でした。

また、記録的な大雨を降らせた台風12号が西日本に上陸し、本市の国内交流都市、奈良県五條市と和歌山県新宮市をはじめ広域的な被害をもたらしました。

一瞬にして貴い命を奪われた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、いまだ、避難生活を余儀なくされている被災者の方々に改めて心からお見舞い申し上げます次第であります。

6月定例会で八尾市災害支援基金を設置させていただきましたが、この度、議会の皆様にご配慮いただき、お見舞金として両市に100万円ずつ贈ることができました。

議会の皆様方には、執行部からの提案に対し大変素早い対応をしていただき、さらには議会においても30万円のご寄附を募っていただきましたことを改めて感謝を申し上げます。

また、環境事業課の職員が新宮市でボランティアにて清掃活動をおこなってくれました。職員46人がパッカー車10台、トラック2台、マイクロバス2台を連ね現地入りをしていただきました。現地では1台あたり5往復、50トン近い廃棄物を処分場まで搬送していただいたとの報告を受けました。

私も出発式に出席しご挨拶をさせていただきましたが、職員の皆さんの心意気に大変感謝をいたしております。

こういった本市の支援に対し、新宮市の田岡市長からお礼と感謝のお電話をいただきました。こういった繋がりを大切にしていきたいという思いとともに、これを契機に、八尾市と新宮市の国内交流が深まり、防災協定に発展すればと考えています。

次に、10月1日並びに3日の早朝から赤い羽根共同募金の取組みが、八尾市女性団体連合会や私立保育園の保育園児の皆さんなどのご協力を得、市内各駅、各所で行なわれました。本当に感謝を申し上げます。

この取組みにつきましても、市職員の皆さんも先頭に立って協力をいただいたところです。

赤い羽根共同募金については募金額が年々低下傾向にありますので、各部局においては、この期間中、関係各方面にもお力添えをいただけるよう、お声をかけていただきますようお願いいたします。

次に、9月30日には、保護司会と就労支援協定を締結させていただきました。

これは、保護観察中の人で保護司会から就労支援者として推薦を受けた人を対象に、本市が臨

時的職員として任用することで、ご本人の本格的な就労へのステップとしてもらい、早期の更生と社会復帰を行政として積極的に支援するものです。

全国的にもこのような協定を結んでいるのは大阪府だけで、大阪府下では、吹田市、東大阪市、枚方市、大阪市に次いで5例目となります。協定締結の働きかけを保護司会からいただいておりますが、ようやく締結に至ったわけですが、協定締結だけにとどまらず、是非、現実のものとして就労支援を行なってまいりたいと考えておりますので、各部局の皆さんもご協力をお願いいたします。

そして、この機会に、保護司会と連携を深め、青少年の健全育成や就労支援に努めていきたいと考えています。

次に、実施計画や予算編成の庁議も近日中に予定されています。これらについては、部局マネジメント目標に掲げる課題や地域分権の視点をしっかり持って、各部局で議論を尽くしていただきたいと思っております。

非常に厳しい経済情勢の中、厳しい財政運営が予想されますが、これまで皆さんの努力で改善の兆しが見えてきたところです。予算計上に際しては不要不急の観点から再度点検を行っていただくとともに、必要な分野に積極的に予算配分できるよう、各種計画について再度確認いただき、私のマニフェスト実施計画に掲げる事業の推進にも努めていただきたいと考えています。また、行財政改革の取り組みややおちよい変え運動など、多くの職員が頑張っていると思いますので、多くの職場で事務改善が進んできているのではないかと考えています。この勢いで、効率的・効果的な行財政運営に、さらに一歩前進してもらいたいと考えています。

新規採用職員が4月の採用から6ヶ月が経過しましたが、10月7日にスチュワード研修として、先輩職員と一緒に設定したテーマについての発表があると聞いています。

新規採用職員がそれぞれの部局に配属されていると思いますが、全てを見学することは時間の制約上困難でも、ぜひ所管の職員の発表は見学に駆けつけ、激励していただきたいと思っております。

後ほど、御報告もあるようですが、節電の取り組みについては、9月末をもって一旦終了をいたしました。市民の皆さんにもご不便をおかけし、御協力を願ったわけですが、この2ヶ月間の対前年比で約8.2%の節電効果があったとのことでした。

常日頃から全庁的に環境マネジメントシステムに取り組んでいただいておりますが、それ以上の取り組みを行なっていただいたことに感謝を申し上げます。

今後もエコオフィスの観点から、異なった視点で八尾市独自の取り組みをさらに進めることも必要と考えていますので、よろしくお願いいたします。

厳しい暑さは少し和らぎ、朝夕など少し肌寒くなってまいりましたが、体調管理には十分に留意していただき、それぞれの部局をしっかりまとめ、本市のまちづくりを一丸となって推進していただきますようお願いし、冒頭の挨拶といたします。

## 案 件

### 1 平成23年度やおちよい変え運動の取り組み状況について 吉川政策企画部長

「平成23年度やおちよい変え運動」については、8月から11月を業務改善強化期間として設定し、各職場において取り組んでいただいているところである。

各職場において取り組まれることとして「計画シート」の提出があった業務改善の内容は、資料1のおりとなっている。

当資料については、後日電子キャビネットに掲載するので、今後の各職場における取り組みの参考としていただくようお願いする。

なお、今年度においては、業務改善強化期間の中間となる10月に、取り組みの点検を行い、必要であれば内容に修正を加え、残り期間の取り組みを実施いただくようお願いする。

また、今後も、実行委員会が発行する「ちよい変え通信」をはじめ、様々な機会を捉えて取り組みに係る情報提供等を行うので、所属職員への周知等にご協力をいただくようお願い申し上げます。

**田中市長** ちよい変え運動の参加で昨年度から保育所、幼稚園などが増えたが、今年度は本庁以外の外部で増えたところはないのか。

⇒ **中山学校教育部長** 小・中学校では今のところ参加はないが、今後積極的に声かけしていきたい。

**田中市長** 小中学校や外郭・関連団体にも積極的に声かけし、参加してもらおうようお願いしたい。

**原副市長** 各部長はこの取組みの熱心さが冷めてしまわないよう、是非職員に督励・促進の働きかけをし、職場の盛り上がりにも努めてもらいたい。

### 2 八尾市の節電対策の実施状況等について 田中総務部長

本市の節電対策については、去る7月1日から9月30日までの3ヶ月間、本庁舎等において取り組んできた。このことについては、すでにメール等を通じてお伝えはしているが、この間、市議会や市民の皆様、また多くの職員の皆様にご理解とご協力をいただき、この席をお借りして、まずお礼を申し上げます。

さて、先日、本庁舎の8月分の電力使用実績がまとまったので、その実施状況等について、ご報告

申し上げるもので、議会には8月の各派代表者会議で既にご報告をしている。

「1. 節電対策の概要」については、既にご承知のとおりであり、割愛させていただくが、「2. 節電対策の実施状況」については、本年8月の1ヶ月間の本庁舎の電力使用量は、449,008kwで、昨年同月比で35,521kwの減、率にして7.3%の減となった。また、7月・8月の2ヶ月間の合計としては、電力使用量は、848,502kwで、昨年同月比で76,067kwの減、率にして8.2%の減となった。

関西電力株式会社からの節電要請は9月22日で終了し、今夏季における電力需給の危機的状況は回避できたので、本市の節電対策についても9月30日をもって終了とさせていただいたところである。

従って、取組内容のうちエレベーターについては、10月1日から従来どおりの運転方法に戻すこととした。

なお、今年の冬も電力需給状況が懸念されている中、本市としては今後もエコオフィス推進のため、ノー残業ウィークの実施を除くその他の取組みについては、引き続き実施する。

また、7月分から9月分までのデータが出揃った段階で検証を含め、総括として皆様へご報告申し上げる所存である。

**福田病院事務局長** 一定の制約がある中での病院での取組み状況は、電力使用量で7月は対前年マイナス2.3%、8月はマイナス7.2%となった。その他のガス使用量を削減したうえで、ガスとのコージェネ発電を一層活用することにより、またエレベーターの1機運転停止等により節電に取組んだ。なお、取組み期間終了後はエレベーターの1機運転停止は再稼動させた。また、自動販売機の節電や電灯の間引きなどは今後も引き続き行っていく。

**比良水道局長** 水道局庁舎の節電状況は、7月がマイナス22.1%、8月はマイナス25.2%を達成した。取組みとしては基本的に本庁舎と同じであるが、局独自でKESも実施しており、今後とも継続して行っていく。また、ポンプ設備等の配水関係は以前から水運用方法の見直しにより、既に電気使用量の削減に取り組んできている。

**大辻消防長** 消防本部庁舎では、7月はマイナス4.4%、8月はマイナス13.2%、7~8月合計ではマイナス9.5%となった。ただし、深夜に出動があれば、夜間に照明や空調機をつけるのでその部分の節電は難しいが。

**田中市長** 先日、関西電力株式会社さんがお礼の挨拶に来られた。15%の節電要請であったが、関西電力管内の平均はマイナス7.2%であり、以前から節電に取り組んでいる八尾市でのマイナス8.2%という数字に感謝の意を表された。一方、去る6月定例会で予算の可決を頂いた公用車の買い替えのうち5台が電気自動車(リース)、既に1台は納車されている。各部

局長から職員へは、環境保全を意識した運転を心がけるようお願いしたい。

原副市長 節電の9月のデータも取りまとめし、今後につなげてほしい。

**3 平成23年度 民間企業派遣研修 派遣職員の決定について** **山本人事担当部長**

9月部長会で公募のお願いをしていた「民間企業派遣研修」については、3名の応募があり、書類による1次選考と面接による2次選考を経て、派遣職員を決定した。

受入企業2社のうち、國陽電興株式会社については、土木部下水道総務課の松川香澄を派遣職員と決定し、もう1社である西武百貨店八尾店については、健康福祉部地域福祉政策課の畠山和也、健康福祉部介護保険課の田村隆を派遣職員として決定した。

3日間という短い派遣期間ではあるが、民間企業の実務を体験することで、幅広い視野を得て、新しい発想をもって、市民サービスの向上に向けて貢献することを期待しているところである。募集に際しては、ご協力をいただきお礼を申し上げる。

<発言は特になし>

**4 友好都市締結25周年嘉定区訪問団の受入れについて** **植島人権文化ふれあい部長**

これまで八尾市においては上海市嘉定区との経済・文化をはじめ幅広い分野に渡って交流に努め、相互理解と友好の絆を深めてきたところである。

本年は上海市嘉定区との友好都市締結25周年にあたり、友好訪問団が来市されるので、到着時の歓迎につきまして所属長をはじめ職員に周知いただきますようお願い申し上げます。

市庁舎到着は、10月17日(月)午後4時ごろに市役所本館正面玄関に到着予定である。

庁内放送でお知らせするので、玄関前で1人でも多くの職員により暖かくお出迎えをしていただくようお願いする。

八尾市での滞在期間は、10月17日(月)から10月20日(木)までとなっており、10月17日(月)午後6時から商工会議所において、「友好都市締結25周年記念式典・歓迎会」を「八尾市日中友好協会設立30周年記念式典・歓迎会」と合同で行う。

10月18日(火)はFMちやおの収録など八尾市内の視察、大阪市内の視察、10月19日(水)は八尾市日中友好協会の協力による奈良市内の視察、10月20日(木)は東京へ移動の予定である。

訪問団のメンバーは、団長の「甘 永康 嘉定区人民政府信訪弁 主任」以下6名となっている。

原副市長 訪問団に関係する部署には丁寧な対応をよろしくお願いする。

## 5 地域担当職員研修の実施について

小田市民ふれあい担当部長

地域担当職員を対象とした研修の開催についてご依頼申し上げます。

地域担当制がスタートして半年が経過したが、この間、それぞれの部局において、部局地域会議を、また、それぞれのブロックにおいて、コミュニティ推進スタッフを中心にブロック会議を開催し、地域情報や地域課題の把握を中心に活動をしていただいているところである。

これから、わがまち推進計画の作成支援等を進めていく時期を迎えるが、この研修では、地域担当職員の役割等を改めて再確認いただき、共通した認識を持ち、安全・安心の取り組みなどの地域のまちづくりを職員がサポートする意義を考える機会として実施するものである。

内容については、昨年度、八尾市総合計画審議会委員を務められ、現在、「やお地域まちづくりアドバイザー」を委嘱している大阪国際大学の田中 優准教授を講師とし、ご専門である、防犯・防災という観点から、「地域住民主体の安全・安心の取り組みについて」というテーマで研修をしていただく。

日時、場所等については、資料のとおりである。

10月6日付で、地域担当制の各部局調整担当者（総務担当所属長）宛に、研修開催のご案内を送付させていただくので、部局調整担当者で取りまとめいただき、市民ふれあい課までご報告をお願いします。

**田中総務部長** 対象者は地域担当職員だけでなく全職員であると理解している。会場の収容人数の問題やスペースの関係はあるが、他の職員も参加できるようお願いできるのか。

⇒ **小田市民ふれあい担当部長** 今回は、基本的にはコミュニティ推進スタッフと地域担当職員であり、スペースの関係もあるが、報告をいただければ参加いただきたいと考えている。

**野村水道事業管理者** この研修テーマは全職員共通のものであり、重要なメッセージにもなるので、是非全体的な研修を行っていただきたい。

⇒ **小田市民ふれあい担当部長** まずは、初めの第一歩ということであるが、ありがたいご提案と受け止めている。

**原副市長** 地域担当職員だけでなく、このテーマは本市にとって重要な課題であり、全庁的な仕組みがうまく働くよう大きな関心を持って日頃から取組み、盛り上げていてもらいたい。

## 6 その他案件

### (1) 平成23年度八尾市防災訓練について

小田市民ふれあい担当部長

去る9月11日(日)に大正小学校で開催した平成23年度八尾市防災訓練において、公務ご多忙中にも関わらず、各部局長をはじめ、当日、参加いただいた応援職員の皆さんにはお礼を申し上げます。

ご協力により、当日参加された地域住民約800名、訓練にご協力をいただいた関係機関や団体の方々を含め、全体で約1,100名の方々に有意義な訓練に取り組んでいただけたものと考えている。

今年度の訓練については、地域住民による災害時要援護者の安否確認訓練や障がい者の方々を含めた避難誘導訓練をはじめ、東日本大震災を踏まえ避難所運営が被災者の生活を支援する上で非常に重要であることを再認識していただいた。

また、避難所班員及び地域の自主防災組織、三師会等が協力し避難所開設・運営訓練を実施し、実際にプライバシーに配慮したパーテーションの設営や災害対策本部との通信訓練、更には仮設トイレの組み立て等を行い、これまでにないより実践的な訓練が実施できたものと考えている。

また、地域の自主防災組織や消防団、消防本部、環境事業課等が連携、協力した救出・救護訓練や消火・放水訓練、防災関係機関による展示や参加体験訓練等、残暑厳しい中ではあったが、市民、行政、ライフラインの関係機関が一体となって、防災体制の連携・強化と防災意識の高揚に努めることができたと考えている。

また、昨年度に引き続き、市立病院においても、災害時の患者受入れ訓練も同時実施していただき、本番さながらの大変緊張感のある訓練が行われたと聞いている。

企画・立案段階からご協力をいただいた消防本部をはじめ、関係各課に対して、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます次第である。

今後とも、防災訓練については、地域住民の参加を得ながら、関係機関と一体となって、できる限り実践的な訓練内容となるよう努めてまいりたい。

**福田病院事務局長** 消防本部の協力を得て患者受け入れ訓練等を行った。昨年、1階でトリアージを実施したことで混乱した経過を踏まえ、今年は患者の流れを確立し、昨年より整然と実施できた。災害時では、迅速な手当てが重要となるが、現在、実施結果を取りまとめ中である。施設の維持管理はSPCが担っており、今回の訓練の成功はその協力の賜物である。

**大辻消防長** 結果をきちっと出せるよう訓練することと、実際に災害が発生した時に取った内容と訓練内容との間に差が出た場合はその原因を解明し、次に繋げていく努力が必要と考える。

## (2) 関西三都ビジネスフェアについて

角柿経済環境部長

先の部長会でご依頼させていただいた「関西三都ビジネスフェア」については、9月21日・22日の2日間、マイドーム大阪にて開催させていただいたところであるが、市長はじめ、各部局長には、業務ご多忙のなか、多数ご参加いただき、お礼申し上げます。

今年度は、「ビジネスマッチング博」開催10回目の節目の年となることから、兵庫・京都・大阪北河内地域等の関係機関との広域連携によって、事業規模を拡大して開催したところである。

開催初日は、台風による暴風警報が発令される最中ではあったが、開催することができ、また、2日間の来場者数は9,674人(昨年7,055人)と昨年に比べて約2,700人上回っており、引き合い件数も、1万件を超えるなど、(昨年は4,600件)例年以上の結果となった。

出店企業・団体も192の213小間(昨年は75、87小間)にもものぼり、八尾からは71社・団体、86小間の出店(ほぼ昨年同様)があり、他地域とのコラボレーションによる、新たな出会いやビジネスチャンスが生まれるとともに、八尾のものづくり企業の魅力を大いに発信できたのではないかと感じているところである。

来年度以降も今回の経験を活かして、参加企業の拡大など、趣向を凝らしながら更なるビジネスチャンスの獲得につながるよう準備を進めてまいりたい。

**吉川政策企画部長** 例年より広域的に行ったことで来場者が多く充実していた。東京で実施された時は、都市ごとに展示されていて業種的にはバラバラだったが、今回業種別で行っていたので良かった。開催については、財政的な問題はあるが販路拡大につなげていただきたい。

**田中総務部長** 当日は、台風の接近による警戒配備を敷いていたので、各部局長も役割分担をして最小のメンバーでオープニング式典に出席していた。私は出席できなかったが、出席された関係部長から様子などを伺うと、年々努力されている各企業の様子が理解できたとのことであった。出席された方からパンフレットをいただき、同時に市役所の事業等で研究できるものがあるというご意見もいただいたが、イベントを通じて企業と企業・行政をつなぐという役割があるのではないかとと思うので、機会があれば各所属の実務担当者の積極的な参加もできるよう工夫していくべきと考える。

**濱野建築都市部長** 2階が受付になっていたため、エレベーターへの誘導時に待ち時間が長くなるなどスムーズでなかったように感じた。また、昨年、参加されていた耐震化関係の企業さんが今年は参加がなかったのではないかと。

**田中市長** 3時間拝見して面白い展示がいろいろとあり、八尾でも役立つのではと感じた。また、ビジネスマッチング博をはじめ、八尾市・東大阪市・柏原市の3市連携を一層充実させていきたい。

**原副市長** 災害時にも簡単に組み立ててパーテーションとして利用できるダンボールを造っている会社が八尾にあり、被災地へ無償提供したと新聞報道されていた。八尾にもいろいろな企業・資源があるということを再認識して業務にあたってほしい。